

# WARUMO LIGHTING NEWS

■ 1977-3・VoL-25

うっとうしい梅雨というけれど、この季節は、私たちの大地をたっぷり潤わせてくれる。水のないところに、豊かな情感は育たない。雨を吸った樹々は、水々しく葉を広げ、川は元気に流れて自らを浄めていく。人間の文明も、水のあるところから興ってきた。チグリス・ユーフラテス、インダス。そして、

日本の中でも同じことがいえる。紀伊の国から黒潮によって関東に伝わった文化がどれだけ多くあるだろう。梅雨は思考の季節だ。夏に存分に開花するために今こそ。諸君もこの季節、脚本をしたためよう。梅雨が明けたら、エネルギーに、けいこに励もう。来たるべき秋の発表会には豊かに実ろう。



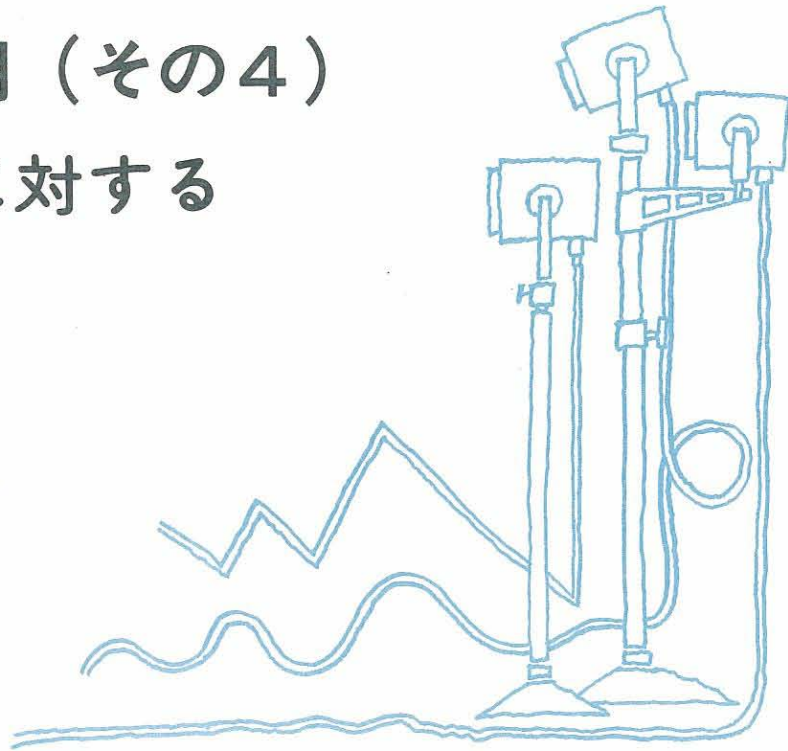
# たのしい舞台照明

## 演出と照明（その4）

### 各種催物に対する 演出照明

牛丸 光 生

女子美術大学講師



### 3. 各種式典

各種式典を大別すると、慶事と弔事になります。慶事では、入学式、卒業式、創立記念式典、受賞式典、記念式典など、さまざまです。弔事では葬儀、追悼式、追善式などがあります。

慶事では、ただ明るい舞台と客席という簡単なものから、演出照明として要求されるものまであります。

#### 各種式典の演出照明

ここで、演出照明としての各種式典について考えてみましょう。講演会と同じように、演壇を中心として明るくするわけですが、金屏風を使用する時は、眩輝のないように投光します。山台を並べて、ひな壇のようにする場合、やはりボーダーライトだけで

はなく、サスペンションのフラッドライトが必要です。

シーリングライトや、角度の高い位置からのフロントライトも効果的です。

通常、上手マイクや下手マイクを使う事が多いので、単独に上下のエレベーターマイクの位置に、シーリングスポットを照射しておく、式典の進行によって、スムーズに処理出来ます。

また、めくりや、式次第のパネルがある場合、やはりシーリングスポットやフロントスポットで処理して下さい。

#### ちょっとした気くばりで効果的な照明を

めくり、式次第は、平行して置くと、場所によって見難いところもあるので、少し斜めにふるようにすると、誰からでも見易くなります。この場合も照明担当者は、一寸とした気づかいで、照明が生きてきます。



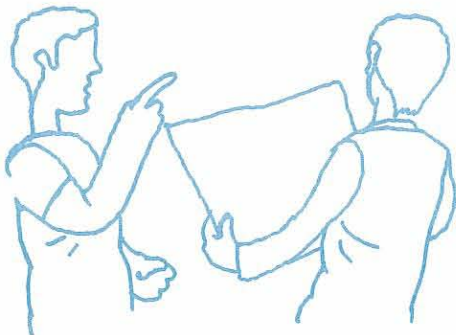
## 念入りの打ち合わせと確認を

通常、式典では中幕や大黒幕で処理しますが、主催者の注文で、 Horizontカーテンを使用することもあるので、念入りの打ち合わせが必要です。その場になって、ローアホリゾントの設営をしたり、アッパーホリゾントの色光であわてることのないように。

式典では看板や、国旗、社旗などを使用する場合が多いので、看板の吊位置、旗の吊位置を確認する必要があります。

開会前に、客席中央からよく見て、明るさが適切かどうかを見る事も大切です。

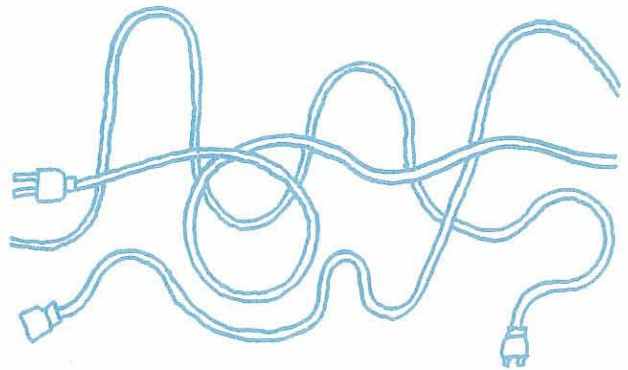
国旗や社旗が、ぼんやりしては照明演出どころではありません。必要なら、サスペンションや、ステージスポットを使用することもあります。



ホリゾントライトを使用する場合、慶事なら、白明り、またはグリーンを使ってもよいでしょう。ダークブルーやヴァイオレットやレッド、ピンクなどは避けた方が無難です。ホリゾントライトは、前明りや、サスペンションの使用、ボーダーライトの使用で、ホリゾントライトの効果が発揮出来ないので開会前に点灯して効果を確認する必要があります。看板の影や、ボーダーライトの使用で、ホリゾントに大きな影が出ることもあるので、点灯、消灯のテストで、すっきりしたホリゾントを作るようにして下さい。

## コードの処理、ライトの位置を安全に

ステージスポットを使用する場合、出席者が多数の時は、注意が肝要です。ステージコードの処理、スポットライトの位置が不備だと、器材が転倒して思わぬ事故を発生することがあります。出来る限りステージスポットは避けて、タワーライトのような



位置から照射すれば無難です。

式典の場合、不慣れな出席者が多いので、舞台上にスポットやコードをはわせる場合は、注意することです。

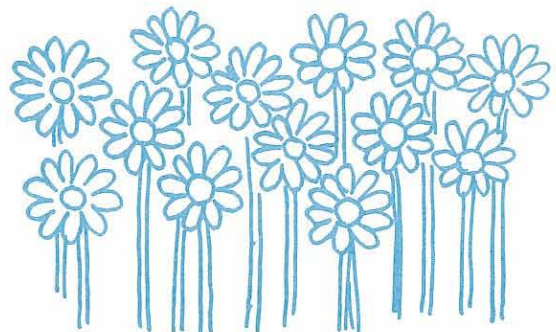
いずれにしても、各種式典では、ステージスポット、コード、ストリップ、ローアホリゾントライトなどは、格納して事故のないように心掛けて下さい。

## 弔事の式典の場合

弔事の式典で、肖像写真や肖像画を使用する場合、吊位置によってサスペンションライトを使用すると効果的です。この場合、肖像写真に焦点をあて、人物の顔を中心によく見える明るさが必要で、しかもギラつきのないような角度からの投射をします。

弔事の式典で、花壇が置かれる場合は、白光で投射すると効果的です。この場合は絶対に色光を使わぬこと。花を美しくみせるのは白光だけです。

ホリゾントを使用する場合、白光か、或はブルーライトにして、沈んだ雰囲気を作る事が必要です。舞台にかざりつけのある場合、客席をやや暗めにしておくと効果的です。弔事では、全体に落ち着いた雰囲気と、焦点を定めて、他は全体にやや暗めのあかりが効果的です。



## 失礼のない心がまえのイロハ

弔事の場合は、各部署の担当者は式典の内容を把握して、いやしくも主催者に礼の失するような事をしてはいけません。操作に熱心なあまり、大声を発したり、話題に夢中になって笑声をたてたりすることのないように。これは慶弔を問わず、他の催物でも、照明室からの連絡の声や、会話が舞台に聞こえることがあります。舞台ばかりか、客席にまで聞こえることがあります。操作者が熱心なあまり、つい連絡の声が高くなったりすることもあるでしょうが、裏方の声は、舞台や客席に聞こえぬよう、日常よく声のとおりや、不用意な声を出さぬように心掛けておく必要があります。舞台や客席に、不必要な声やざわめきや笑い声や歓声が聞こえてくるのは、出席者には非常に不快な事です。

野球のブロックサインではないが、日常会話ではなく、サインで操作するように訓練していると、声を出さなくても相手に充分通じます。簡単な No や Yes のサインから、フォローの指示や、スポットの照射まで指示出来るのです。式典進行中に、変更が出た場合でも、サインの交換だけで処理出来ます。止むを得ず連絡する場合、インターホンのポリウムや、インカムの会話の高低に注意して下さい。よく式典中に照明操作者が、調光室のみに入室している場合があります。式典の変更がある場合や照明操作の注文が出てもすぐ処理出来ない事もあるので、必ず舞台係か舞台袖の担当者に確認させて、照明操作がスムーズに行えるように処置して下さい。

また、照明調光室から舞台の上下が見通せない場合、ミス誘発しやすいので、このような場合には、必ず舞台袖との連絡を緊密にして、連続ミスのないように確認して下さい。

## アトラクションやショーの場合

慶事のアトラクションや、ショーは式典とは別に仕込しなければなりません。

これも、舞踊、音楽、演劇とさまざまで、松羽目物から奇術まで、よく打合せをして、照明効果をあげるように処理すること。

入学式や卒業式でも最近は種々な照明の要求が出ているので、綿密な打合せが必要です。式典中のアトラクションは、出演者がプログラム通りにならな

い場合もあるので、本番中の密接な連絡が必要となります。



## 各種式典には白光が基本

各種式典で、アトラクションやショーの場合は別として、原則的にはカラーフィルターを使用しないで、生明りで処理することが肝要です。主催者の注文で色付きの式典照明をみることはありますが、効果は半減するばかりか、式典の品位もありません。すべて主催者の言いなりではなく、むしろ白光の美しさを説明し、納得させることも大事です。式典照明はいわゆる白光が基本ですから、その白光の明暗を調節することです。

## 4. 民族芸能(郷土芸能)

民族芸能は信仰に伴った民俗行事として、神社の祭礼、仏寺の法会や雨乞いに行われた芸能ですが、現在では会館やホールで上演されることが多くなりました。郷土芸能とも民間芸能とも呼ばれています。

民族芸能はもともと神事なのですが、その主要な動機は、

1. 人々の長命を願う祈禱に発したもの。
2. 豊作を願う祈禱に伴うもの。
3. 人々の生命をおびやかす疫病災厄をもたらす悪霊を追い払う祈禱に伴うもの。
4. 遠い国から来訪する神の信仰に発するもの。

等に分けてみる事が出来ます。また各地にある民俗芸能を系統別に分けてみると、

1. 神楽 (巫女舞、出雲神楽、伊勢神楽奉納舞)
2. 田楽 (田遊び、春田打ち、田植踊り 御田植神事)
3. 風流 (山鉦、傘鉦、太鼓踊り、念仏踊り、盆踊り、小歌踊り)



4. 祝福芸（千秋万才、なまはげ等）

5. 外来楽（獅子舞、舞楽、散楽、延年舞、人形舞等）

となります。

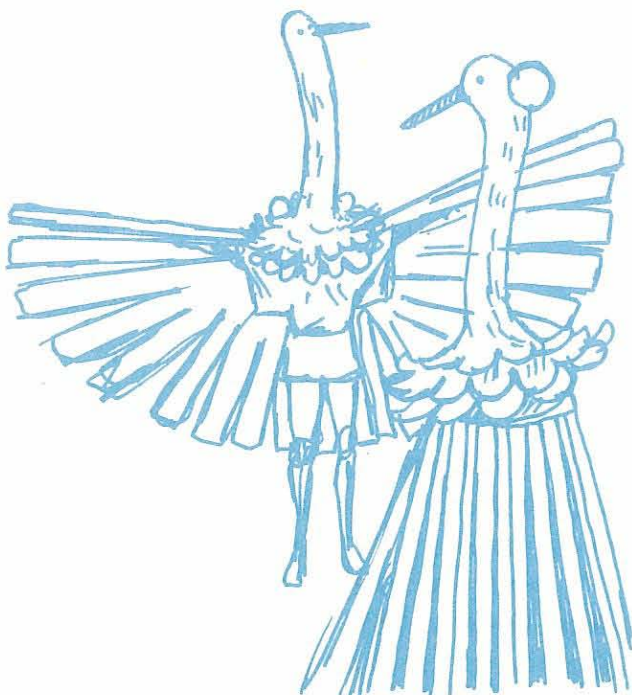
島根の「鷺舞」愛知の「ほうか」岩手の「鬼剣舞」沖繩の「巻踊り」新潟の「こきりこ舞」など、風流に属します。

もともと信仰に伴った行事ですから、屋外や、民家、神社、仏寺、公民館などで上演されたものですから、特殊な照明を必要としません。基本はあくまで白光です。

水平線を使用する場合、民族芸能のレパトリーによって、水平線ライトに多少の色光をつけてもよいでしょう。

たとえば田楽では、麦つき、田打ち、種蒔、鳥追い、早乙女、桑取り、糸ひき、田楽舞、三番叟がありますが、いずれも屋外で、カラッとした明るさが必要です。もともと生活を基盤とした舞ですから、水平線を使用する場合は、ライトブルーやライトグリーンで、明るい色彩と屋外のさわやかな色彩を考え、ローア水平線も明るい色で処理するのがよいでしょう。

演技面（舞踊手の踊る場所）での明るさはさわやかな明るさを作るようにして下さい。



色が様々な感情を表現することは既に周知のことと思いますが、ここにひとつの実験例がありますので、御紹介しましょう。

実験は、ある洋裁学校での、ディスプレイの基本の一部としての色彩感情を体験させるために、名古屋の照明家が、洋裁デザイナー志望の男女（21～22才）を対象に行なったものです。7月中旬の夜、暗幕を閉めきった。相当暑苦しい教室内で、白いヴィーナス像に500Wスポットをあて、フィルターは、ブラステートカラーを使用する、という条件でした。

色からの連想を整理してみると――

ピンク☆小さな喜び、温和、やさしき、やわらかさ、小さな花、女らしき等々。また、健康的。

赤 ☆勇気、運動、恋愛、ほのお、火、ジャズ、赤く燃える。また、強すぎる、暑苦しい、異質な世界等々。

橙 ☆平凡、落ちつきのある人、暖炉、考える人、上品さがない。また、まどいやけだるさ等。

黄 ☆いつわりの心、神経質な感じ、うすっぺらな非人間的な感じ。また、冷たさ、透明感。

緑 ☆冷たい、静けさ。また、圧迫感、めまい等。

青緑 ☆冷たい心、冷静、静かさ、海のふかみ。また、宇宙、暗い等々。

青 ☆母のやさしき、清潔、冬の雪水。また、素朴、落ち着き、高原の空気等々。

藍 ☆冷たさ、きれい、雪割草。また、夜空、秘密、幻想的な等々。

赤紫 ☆親切、ノーブル、女王、高貴。またくどい花、ネオン、ふはい等々。

青紫 ☆冷淡、けだかさ。また冬の夜、そよ風等々。

（柘植貞輝編「初歩の舞台照明の手びき」より）

みなさんの感覚はどうでしょうか？

# 学校の為の 舞台照明設備の すすめ(III)

社団法人 日本照明家協会会員  
岩品健介 日本劇場技術協会会員  
株式会社 共立

## (2) 視聴覚教室での 仮設の舞台照明

「萩の花」は、埼玉県立志木高等学校・演劇部が、  
新入生歓迎のために視聴覚教室の仮設舞台で演じた  
ものです。  
今回はその例によりました。

前号では、OEC型1KWスポット2台だけという、  
埼玉県浦和市立大谷場中学校の、“真夏の夜の夢”の  
照明から例をひいてまとめました。今回は少し、ス  
ポットの台数をふやして、T・I型500Wスポット、  
(ハンガー付)4台、DF型500Wスポット(ハンガ  
ー付)2台、CEC型1KWスポット(丸台スタンド  
・アイリスシャッター付)2台、更にくわしくいえ  
ば、1.25<sup>m</sup>キャプタイヤコード(延長コード)60m  
位、T型コネクター用二又アダプター(変換コード)  
2本、それに、やはり集中方式として、可搬型調光  
器T・6型ディムパックを1台、付随する22<sup>m</sup>(ス  
ケアー)キャプタイヤ三芯コード20m位と、プラ  
ステートカラーフィルターの#641枚#351枚#881  
枚、その他、バインド線少々、1m位の竹棹2本と、  
ヒートン、ガムテープ少々(仕込図参照)これだけ  
で、志木高校の“萩の花”は見事に開花したのです。

お膳立は揃いました。それでは、仕込みの作業に  
移りましょう。

因みに、背景画(ドロップ)は、美術部の生徒の  
作品だそうです。仲々の出来ばえです。

一枚のドロップに、夕色の濃い、今にも暮れよう  
とする山里の秋の風景が描かれ、その前に、点形と  
して、学校の近くで苺って来たすすきが配してあり  
ます。

私は、かねがね思っているのですが、演劇部とい  
っても、演技者中心のクラブ活動では、仲々背景画  
の描ける人は少ないし、まして、照明や音響の係も  
ままにならないのが現状なので、音響は放送委員に、  
装置は美術クラブの人達に、そして、照明はやはり  
自前になるのでしょうか、なるべくならば、ベテラ  
ンの三年生にお願いしたらと思うのです。

大方の学校では、裏方(スタッフ)には、一年生を  
あて、二年生が演技中心になり、三年生は、主役又  
は演出者になっていますが、むしろ、一年生が演技  
の中心になり、二年生が主役でまとめ、三年生は演  
出と裏方にまわって頂きたいところでしょう。

何故なら、演劇を知らない一年生には、演技を通  
じて、お芝居づくりを覚えて貰い、二年生になって、  
むずかしい役に挑戦し、三年生でスタッフの側にま  
わり、一・二年生をリードしながらお芝居づくりの  
味をたっぷり味わって、充実した高校のスクラブ生  
生活を終えて頂くのがよいように思うからです。

それに案外本音を言わせて頂くなら、裏方の中  
でも、劇の進行と同時進行をしていく照明係の仕事は  
他の部門に比較して、それだけにむずかしいところ  
があるのです。

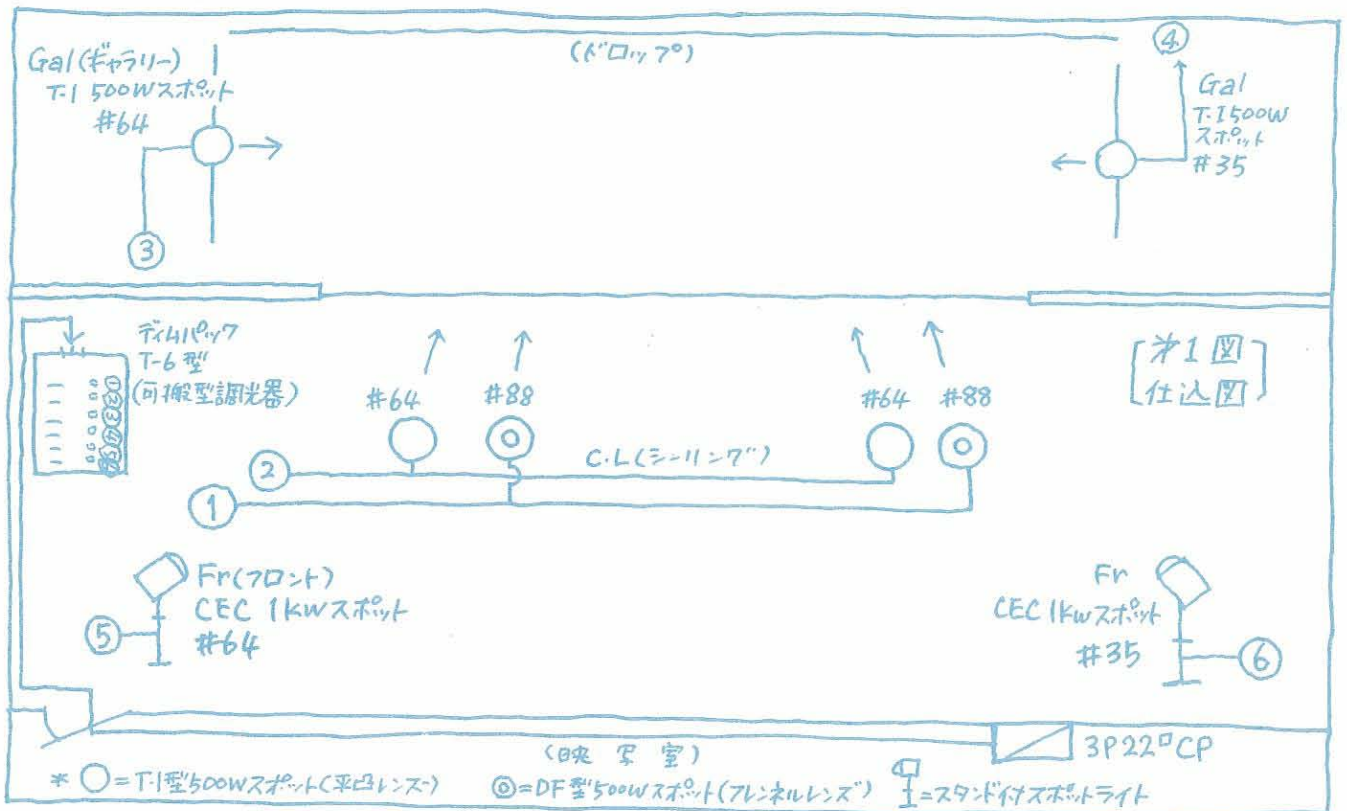
例えば、大道具ならば、製作の過程でのむずかし  
さは大変なものですが、一端出来上ってしまえば、  
幕間の舞台転換が主で、あまり舞台進行上の妨げに  
はならないものです。効果音響係については、先程  
も言ったように、放送委員もいますし、オーディオ  
マニアも何人かは居るはずで、それに、便利な効  
果テープが市販されています。

衣裳やメーキャップは、女生徒のお得意のもので  
しょう。

高校演劇の分野では、照明部門だけが、まだ少し  
立ち遅れているといえるのではないのでしょうか。

まず、視聴覚教室には、舞台照明の設備がないの  
で、分電盤から、三芯の22<sup>m</sup>スケアーキャプタイヤ  
コード約20mを、ディムパックT・6型調光器に引  
き、舞台下手側の客席前に設置し、次に、T・V受  
像機を天井から下げているパイプに、ハンガーを横  
にとりつけて、そこにT・I型500WスポットとD・





F型500Wスポットを左右にふり分けて2台宛、計4台を配して、シーリングライトにしました。

コードは、1KWスポット用の、キャプタイヤコードに、二又のアダプターを使用して、同一型500Wスポット2台を、一本の延長コードにまとめたわけです。

次に、1m位の竹棒(掃木の柄でも可)を2本用意して、それをサスペンション代りに、ギャラリーの位置に吊ります。

後は、シーリングの場合の要領で、ハンガーに、T・I型500Wスポットを吊って配線して下さい。

これで面倒な仕込みは終わりました。フロントサイドスポットにCEC型1KWスポットを2台配置して、ディムパックのコンセントにつなぐのです。

T-6型ディムパックのフェーダーは6本(6回路)なので、それぞれの回路に分けて、シーリングライト(2台)1回路を1番目に、もう1回路のシーリングライト(2台)を2番目に、3番目の回路にはギャラリーの下手側を、その次に上手側を、5番目の回路にはフロントサイドの下手側、6番目に上手側を入れて下さい。

別に、これは決まっているわけではなくて、自分の

操作しやすいように系統だてて入れれば良いのですが、此の場合調光器の設置場所から舞台をみて、手近かな、シーリングライトからフェーダーに組み込むか、舞台中から組み込むかすれば、判りやすいという理由からなのです。

そうして、電気を通して見て、色を入れながらしかる可きところに明りを投光してゆくのです。(第2図参照)

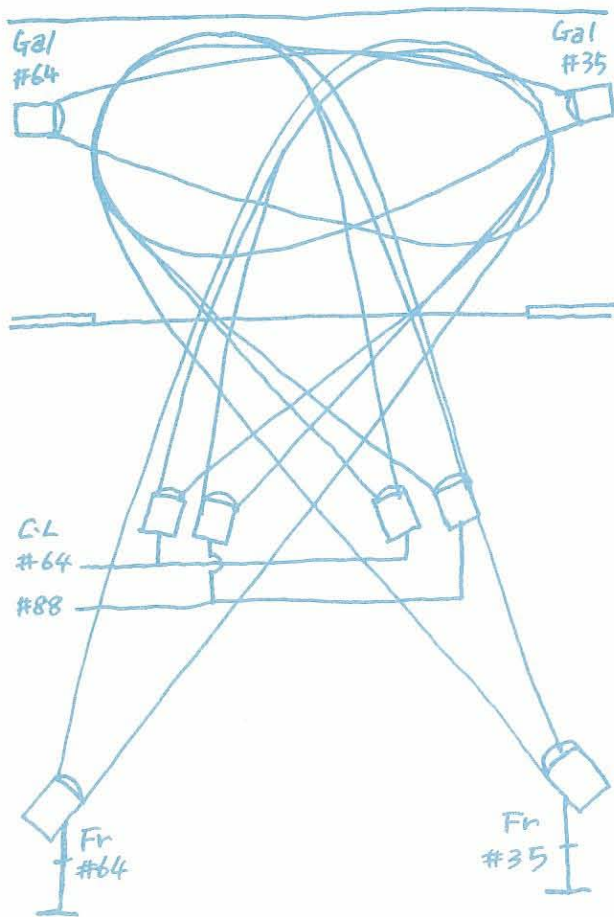
各スポットに配線をし終えて、いよいよ色を入れる時には、プランナーは、充分、台本を読み、舞台稽古にも立ち合い、舞台のつくられる現場(視聴覚教室の条件)も下見しているのですから、その時すでに、舞台の照明がどんなものであるか、イメージとして判っていないければなりません。

“萩の花”は、作者の設定では、1868年の秋、遠く山脈の続く原野で、しかも日没近い時刻となっています。

そして、舞台背景もまた、まさに暮れなずむ秋の夕べの色をしています。

だから、照明も、負けずに、秋の夕暮れを再現しなければならぬでしょう。

併し、場所は視聴覚教室です。間口は良いとして



[\*2図 配光図]

興行がありません。すべては簡略にまとめなければならぬのです。

電気容量の問題もありました。スポットの台数も全部で8台です。回路数（フェーダー本数）も6回路です。

そこで、カラーフィルターもなるべく薄い色を選びました。夕焼けはアンバーの#35を、おさえとしては顔が青くならないように、これも薄いブルーの#64を、そして、シーリング（前明り）からは、少し皮膚の色を生かすために#88を使ってみました。

配色も配光もこれで決まりました。

次に、舞台照明が生きる一番大切な技術に切掛、（キッカケ）があります。

いくら、配色、配光が素晴らしくても、一つのシ

ーンから他のシーンへと移る光の変化が、舞台の動き全体とどう係わりながら進行してゆくかが、舞台の中にあって舞台の照明が生きたものになるかどうかの境目でしょう。

つまり、筆者のいう“存在を照らす明り”は、殆んどが配光と切掛で決まるのです。

勿論、配色の妙も一つの芸術でしょう。併し、単なる趣味上の配色では、あまり意味を見出せないのです。

配色と配光と、それ等を刻々と変容させて止まない、光の時間の流れをとらえる切掛が一体となって舞台の芸術的存在を照らす時、その時初めて光は生命となってよみがえるのだと思います。

大分むずかしい話になりました。

又、少し先へすすめましょう。

作者は、おそらく、幕藩体制の、あたかも爛熟したビードロの様な柿の實の最期の一つが、夕陽に照らされて、暮れなずむ暮色の中に落ちてゆくように崩れ去る前夜を描きながら、そのすぐ背後から、明日の新生日本の夜明けを告げる太陽の光が無数の束となって東の海上からほのかにさして来ることを、同時代人の視点として予想している様に、筆者には思えてなりません。

作者は、歴史のほんの小さな一こまを、この劇作にまとめながら、実は、巧みに今次大戦の終末と重ね合わせていたのかも知れません。

ですから、落日は美しく、そこはかたなく照り映えながら、しかも観る人に明日への希望と光を与えなければなりません。

これだけで、まさに一幅の絵になります。

背景の美術もその様になっていました。

そこで、シーリングからは、#88と#64、ギャラリーは上手から#35を下手へ流し（夕日）、下手からは#64でやわらかくおさえました。

したがって、フロントサイドスポットも、上手側から#35で下手ステージのエリアへ投光し、同じく上手ステージ空間へは下手側のフロントサイドスポットの#64でうけとめてみようと考えたのです。

舞台照明とは、「舞台というキャンバスに、光で絵を画くのだ」といわれた先達も居ります。

敢えて筆者は、その上に、“展覧会の絵”から絵へ移って行く時間のプロムナードの必要性を加えます。

それは、ムソルグスキーの音楽の様に、時間と空



[表3] 操作表

	① C.L #88	② C.L #64	③ Gal(FF) #64	④ Gal(上利) #35	⑤ Fr(FF) #64	⑥ Fr(上利) #35	
Q1 幕開き (L.O)	100	100	100	100	100	100	
Q2 “のぶ”が空を指す	↘95	↘95	”	”	↘95	↘95	少し前から徐々に↘オス
Q3 槍を持った“よう” 上手から登場で	↘90	↘90	↘95	”	↘90	”	重に夕暮れて
Q4 “よう” “りく”を 刺して	”	”	”	”	”	↗100	ニニモチ 茜色強くよう、に
Q5 さんさ時雨の唄 流れる頃かど	↘80	↘70	↘90	↘95	”	↘95	なんとなく 変化する
Q6 “みず”萩の花を落して 重に夕色濃く	”	↘60	”	↗100	”	↗100	唄のたかまりに 合わせて
Q7 ラスト (L.C)	”	”	”	”	”	”	

間の高度に調和した芸術への昇華、そのものではないかと思えてならないのです。

いいかえれば、一場面の照明プランの設定（配色・配光）が、時間の流れをせき止め、或いはゆるやかに、また激しく自在にあやつる操作技術と切掛、そして、それ等を含めた操作表の中にプランナーの意志がこめられていなければなりません。

勿論、各パートのオペレーター諸君の熟達した技術の裏打ちがなければ、それ等のプランナーの意志は、気泡の様にあとかたもなく消え失せてゆくのでしょうか……。

そこで、第3回として、ディムバックT-6型の調光器を使った操作表が必要となって来るのです。

諸君達は、立派な体育館の舞台や照明設備が無いからといって、少しもなげくに当りません。

筆者の参考例で、一つ実験してみませんか。

- 特別教室の仮設舞台でも、視聴覚教室内での仮設舞台でも、楽しく芝居が出来るのです。

可搬型調光器が1台あれば、非常に便利ですが、まず、スポットと延長コードさえあれば、隣りの教

室から、少しづつ電源をもらって来て、スポットはつくるのです。

光さえあれば、それが先ず照明なのです。

とぼしい中で工夫をしましょう。多少の出費は仕方のないことです。でも、発表会の日時さえずらせば、お隣りの学校からスポットは借りられるでしょう。

どうです。マルモニュースの参考例で、貴男も貴女も、一度、照明係を引き受けてみませんか。

筆者は諸君達のために、可能な限り、ご相談にのりましょう。

筆者の力で及ばなくとも、そこはそれ、我々の先輩や仲間や、あるいは、メーカーの技術者の力をお借りしてでも、諸君達の疑問に答えましょう。

連絡住所(ヨル21:00~24:00迄受け付けます)

所沢市下安松187-45

TEL. 0429(44)0977番



## ★シリーズ 高校演劇部めぐり★

## 埼玉県立

## 朝霞高等学校演劇部



部員のみなさんジャージを着込んで、とても張り切っておられるようですが、クラブ活動はいつから始まったのですか？

「昭和38年にこの学校が新設され、体育館ができたのが42年秋、それまでも活動はしていたようですが、舞台を使つての上演は43年秋からです。その春転任して来たのですが、照明にはだいぶ泣かされました」

どうしてですか？

「生徒が選んだのが、柴田北彦先生の『佐渡の安寿』、非情なまでに澄んだ、冷たい空の下で演じられなくてはならない人間悲劇なのですが、 Horizont ライトがないのです。邪道と知りつつ4器あったサスペンションライトに、77番のゼラチンを入れ、四角の筒を作ってバック幕に映し出しました。重なったり離れ過ぎたりしないように間隔をとる加減と、スポットライトが作る人物の影を、空に映さないようにするのが難かしくてね。これは中央の岩をどンドン左右に延ばしていくことできりぬけましたが、大道具の係が泣く番でした。

ジュリーが舞台できらびやかに輝くのも、五郎が孤独な青年の影を落としてみせるのも、そして偉大なプレスリーの華やかな衣裳が、満場にひらめいて私たちがうっとりさせるのも、彼等演技者をひきかてる照明家の手練手管のおかげ、といっても良いほど、いまや照明は舞台の中で重要な役割を占めています。

しかし、私たちがこのようにショーにひきつけることができるのは、これら照明家がプロであり、効果のある器具を存分に駆使できるからなのです。アマチュアでは、そうはいかないでしょう。とくに、学生ともなれば、限られた予算の中で、欲しい器具も手にできず、さんざん苦労して、不十分ながらやっと上演に間に合わせることができる、というのが実態ではないでしょうか。

そこで今回から、プロの照明家を生み出すかも知れない高等学校の演劇部にスポットをあて、設備の実態と活動の状況を紹介して、読者のみなさんの御一考を促したいと、高校演劇部めぐりを新企画しました。

初登場は、埼玉県立朝霞高等学校の演劇部のみなさんです。クラブ顧問の北村先生にいろいろ話していただきました。

それからはなるべく室内の芝居を選ぶようにはしたのですが、ステージスポットの代用品を保健室の脚つきライトで作ってみたり、ディム・バックのない頃は物理実験用のスライダックスを借用して間に合わせたり、それも横にだたっ広い舞台ですから思うようにはいきませんでしたかね」

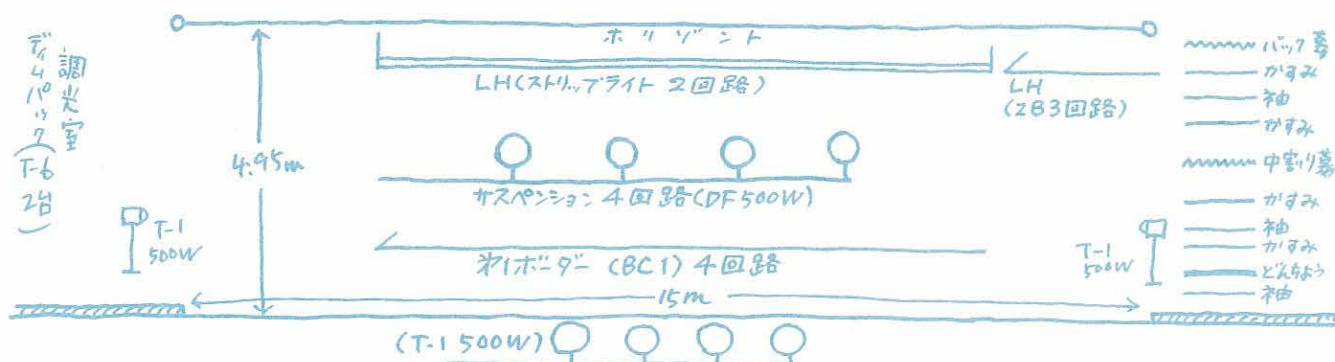
舞台は大きいのですね。

「それが横ばかりで15<sup>足</sup>、肝心の奥行きが5<sup>足</sup>弱、おまけに袖幕をつけると調光室から舞台面が半分しか見えないという情ない設計ですがね」

いまでは、その舞台に合った照明器具もそろってきてはいるんでしょう？

「さあどうなのでしょう。新設校のかなしさで図書館もほしい、プールも作らねばで遠慮がちにストリップライトやディム・バックを少しずつそろえてきたのですが、思いがけず今年の春、卒業生が学校記念品の候補に照明器具をあげてくれました。はじめは反対もあったようですが、結局これに決まり、大喜びで、第二ボーダーをつけてもらいました。その際、昇降装置をあきらめて脚立にしてもらい、





緞帳の前にサスを4器つけてもらいました。ギャラリからのスポットライトが上手下手一台ずつで、しかもとても離れているので、本当は客席上部にシーリングライトがほしいのですが、これはべらぼうにお金がかかるので、緞帳の前に1台ほどの張り出しがあるのに目をつけたというわけです。これで随分前の方が明るくなりましたし、丸茂さんがコンセントをたくさんつけておいてくれましたから、毎年少しずつ器具をふやしていけばと思っています」

よかったですね。あとどんな器具があったら良いんでしょうか？

「やはりギャラリー・スポットがもっとほしい。2台ずつは大丈夫ということでコンセントをつけかえておいてもらいました。あとほしいものは際限もなくありますが、先立つものがねえ。学割してくれないかなあ(笑)。脚立もこわいですよねえ、5台って高いですからね。でも昇降装置はもっと高い(笑)。附帯工事がまたもっと高いんですね」

そうなんですね。人手も掛るし。ところでこれまで上演した中でどの傑作はなんですか。

「照明が一番活躍したのは昨年のです。三年生が書いた『花はどこへ行った』という、自分が人魚姫の姉さんだと錯覚している女の子のかわいい怨念劇なのですが、男の子の勉強部屋がそのまま王宮や海の底や鶴沼海岸に変わらなければならない。とくに日の光もとどかない海の底の花園で、真紅のバラが咲く所とか人魚姫が猫に変身する所とか、奥行きのない舞台ですから苦勞したようですが、私なんかには思いつけないような、仲々生意気な照明をやったのけました。劇そのものも自分たちの仲間が書いたということもあって、大層評判がよかったのですが、照明は大きな役割を果たしました」

幻想的なものと照明は楽しめますね。そういうのが多いのですか。

「そういわれてみると、生徒の創作劇にはその傾向がありますね。一昨年もダンスの発表会ででもなければ使わないようなプラステートを注文するので、いささかどうも。しかしその前は『にんじん』で、これは写実に徹していました」

照明に関して、特別に何か指導しておられるんですか？

「照明プランの書き方も上級生が教えるようになりましたからねえ。私はただ、あまり目立つような照明はよくないとか、色の三原色との違いとか、ただ感電の予防とか吊り具の点検など安全面についてはやかましく言います。男子は無鉄砲だし、女子は力が弱いのか、留め金がゆるんでいたりしますから」

色合わせなら試行錯誤を重ねるのもいいでしょうが、特に電気はあぶないですから注意していただきたいですね。また建築家なり関係者がもっとそういうことに気付いてくれるといいですね。

「まったく。体育館にステージを併設しなくてはならない現実がどうにもならないことなら、せめて、少しでも使いやすいように、はじめに配慮しておくべきですね。配線工事をやり直すとなると、かえって莫大な費用がかかるわけでしょうしね」

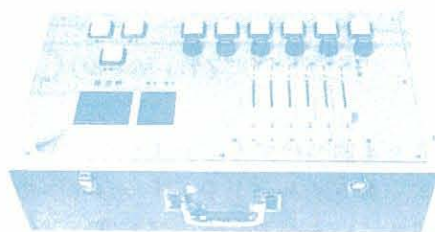
最後にこれからの課題はなんですか？

「調光すると音響の方にノイズがはいりますね。あれを何とかしたいですね。何より男子が私底しがちですから、女子を電気に強かさせないことには。好きになると照明が一番面白いと言いますからね。その上で一人よがりにならないよう気をつけることでしょうか。チームワークですからね、要は」

二年生の台本がまだ完成しないそうで、一年生が三年生のリードでマットを広げての柔軟体操が、まだ続いていました。

★使ってみませんか★

# ディムパック T-6



舞台照明に必要な、全照明の電気回路の調光（光の明暗変化、光量の調整など）や、点滅の照明操作を一個所に集中してコントロールするのが、調光配電盤です。

\*

ディムパックは、可搬型調光配電盤です。どこへでも、自由に運んで使用することができます。また、受電方式は、単相2線式または単相3線式ですので、日本全国どこでも使用することができます。

\*

ディムパックは、1台で12KWの調光が可能ですし、他に2KWの直回路の使用ができます。操作はフェーダーで簡単におこなうことができます。重量17kg、大きさは550×300×150mmですから、1人で軽々と運搬することができます。

\*

ディムパックは、配電盤と調光装置がコンパ

クトに組み込まれたエレクトロニクスを使用しているため、半永久的です。

まったくグーな調光器です。(牛丸光生氏)

配色と配光と、それから刻々と変容させて止まない光の時間の流れをとらえる切掛が一体となって、舞台の芸術的存在を照らす時、その時初めて光は生命となってよみがえるのだと思います。舞台照明の仕事には、ディムパックはぜひ必要な機器です。(岩品健介氏)

ディムパックはプロも使っています

俳優座・民芸・文学座・円・昂・東京芸術座  
前進座・わらび座・新制作座・統一劇場・仲間  
青年劇場・芸能座・東京演劇アンサンブル  
天井棧敷・銅羅・結城座・ブーク・ひと  
み座・文化座・状況劇場。

ディムパックはマルモの商品名です

発行 丸茂電機株式会社  
東京都千代田区神田須田町1-24  
〒101 TEL (03) (252) 0321(代)  
製作 キャピタル企画  
(不許・複製)

取扱店